



空き家の庭の手入れをする見守り隊の会員

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
まちづくり協議会

発行責任者  
林 堅太郎

編集責任者  
野々口 義信

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書

## 空き家対策事業、取り組み3年

### 全国各地から日吉台へ視察相次ぐ

活動のまとめ

日吉台学区まちづくり協議会が2016年7月、「空き家対策事業部」を発足させ、学区の空き家対策がスタートして3年。各丁から委員、学区内で法律や不動産、建築関係に詳しい住民、専門家らで組織した「学区空き家対策委員会」が主体となり活動を続けてきた。住民自ら取り組み、大規模住宅団地で行うこの空き家対策事業は、全国でも例がなく、学区を観光バスで訪問、研修する各自治体住民団体の視察が相次いだ。

学区の対策事業は、大津市の空き家対策事業のモデル地域の指定を受けはじめた。日吉台住宅地で、地域のまちづくりや活性化に活かせる空き家の活用策を検討、課題や問題点を抽出、同じ悩みを抱える県内外の他地域にも活用できる総合的な対策案を構築しようというもの。

学区の空き家対策委員が選定したコンサルタント事業者と協議を進めながら同秋、手始めに学区の空き家実態調査を実施。翌年1月中旬、学区1680世帯のうち115戸を空き家と認定(当時の中間報告)。

部会の空き家所有者や空き家に関する所有者の意向を把握することができ、現在の持ち家の取り扱いについて学区に住む住民からの意向調査も実施した。対策委員は、その後調査結果などから具体的な活動方針を検討。第1段階として「空き家見守り活動」(Aプラン)第2段階「軽微な維持管理支援

このほか、空き家対策活動を住民自治力を高めるとしてとらえ、日吉台が「ずっと・もっと住みつけたいまち」となるよう3回の「ワークショップ」、2回の勉強会などを実施。学区住民が「住」に関する問題や課題や悩みなどを解決する「住まいの相談窓口」も開設した。

各地からの視察は、昨年5月24日、石川県から同市の油野和一郎市長ら同市の市町会、区長会連

日吉台学区社会福祉協議会(呉屋之保会長主催)の「第15回日吉台福祉まつり」が9月8日、日吉台市民センターで開かれる。

計画によると、福祉まつりは、同日午前11時、市民センター大会議室で、学区在住の75歳以上の高齢者が主催し東京、京都などで開催した「住まい」をテーマにした研究発表大会にも出席、学区の空き家対策事業を報告、活動ぶり全国に情報発信した。また、活動をまとめた報告書「日吉台学区における空き家対策の取

活動」(Bプラン)第3段階「空き家の交流拠点活用」(Cプラン)の各ステージを設定、学区内の自治会、各種団体の協力を得ながら順次ステージをあげてゆくことにした。

このほか、空き家対策活動を住民自治力を高めるとしてとらえ、日吉台が「ずっと・もっと住みつけたいまち」となるよう3回の「ワークショップ」、2回の勉強会などを実施。学区住民が「住」に関する問題や課題や悩みなどを解決する「住まいの相談窓口」も開設した。

日吉台学区社会福祉協議会(呉屋之保会長主催)の「第15回日吉台福祉まつり」が9月8日、日吉台市民センターで開かれる。

計画によると、福祉まつりは、同日午前11時、市民センター大会議室で、学区在住の75歳以上の高齢者が主催し東京、京都などで開催した「住まい」をテーマにした研究発表大会にも出席、学区の空き家対策事業を報告、活動ぶり全国に情報発信した。また、活動をまとめた報告書「日吉台学区における空き家対策の取

日吉台学区社会福祉協議会(呉屋之保会長主催)の「第15回日吉台福祉まつり」が9月8日、日吉台市民センターで開かれる。



学区の空き家対策で、大きな活動の支えになったのが、民間のまちづくり支援組織「ハウジングアンドコミュニティ財団」の助成を受けることができたこと。

環境の創造に貢献することを目的に平成4年7月、株式会社「長谷工コーポレーション」が創立55周年記念事業として一過性に終わらない継続性のある社会貢献活動を行いた

は、営利を目的としない民間団体で、代表責任者が明確で意思決定の仕組みが確立され予算、決算処理が適切に行われていることが条件。人口減少社会、少子高齢化社会を背景とした住まいとコミュニティに関する課題に取

対策委員は、学区が行う空き家対策事業がこの制度の助成制度の条件に合致するとして、平成29年秋、応募することを決め、同対策委員の濱崎博・事務局長が中心になって応募書面などの作成など準備を進め、30年度一度限りで105万円の助成を受け、これまで活動してきた空き家対策事業の貴重な財源となった。

学区では、全国のまちづくり研究団体、学会、自治体職員らが参加、財

団が主催し東京、京都などで開催した「住まい」をテーマにした研究発表大会にも出席、学区の空き家対策事業を報告、活動ぶり全国に情報発信した。また、活動をまとめた報告書「日吉台学区における空き家対策の取

## 空き家見守りなどの活動、地道な一歩

### 民間の支援団の助成、成果に大きく寄与

「玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!」

電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

## 福祉まつり

9月8日、市民センターで開催

困ります!そのオシッコ!!  
マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所です!  
※ 犬の散歩の際は、フンの始末ができる用品(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター



# 学校で泊まろう



「学校で泊まろう」で水鉄砲で遊ぶ子どもたち

## 子どもたちの歓声ひびく

日吉台小  
コミュニティスクール

日吉台小コミュニティスクール「寺子屋プロジェクト」が8月7日、8日、日吉台小学校で行われた。ゲームなどの普及で外遊びをする機会が減ってきた子どもたちが友達との楽しい体験を通して、豊かな夏休みを過ごしてもらえれば、と学区まちづくり協議会の子育て応援隊、学区社会福祉協議会、同コミュニティスクール運営協議会が共催、昨年は猛暑による熱中症対策を考慮して中止となったが、今年3回目を迎える子どもたちが楽しみにしている夏のイベント。34人の子どもたちが参加した。

## みんなで楽しいお泊まり

楽しいキャンプファイヤー



子どもたちは、7日午後4時、小学校理科室に集合。比叡山には、黒い雲がかかり周辺は豪雨もようだったが、子どもたちが水あそびを始めるころには、雨も日吉台をかすめるように遠ざかり、雷鳴も消え天気は回復。2組に分かれて水鉄砲で的を落とすゲームを始め、子どもたちがどうしが水のかけあいに遊びが展開。元気の歓声を学校中に響かせていた。

午後6時になって夕食。社会福祉協議会の女性らで作ったカレーを「おいしい。おかわり」とあつという間に完食していた。お泊り会の夜は、子どもたちにとって一番楽しい時間。午後7時半に校庭で、キャンプファイヤーを行った。色とりどりの光の道を子どもたち一人ひとりが入場。4丁目在住の木村正徳さん、同小卒業生の楠木正也さん、森崎裕貴さんがリーダーとなり、キャンプファイヤーを盛り上げる。美しく夜空を染める火を囲んでお兄さんたちと一緒にリズムゲームなどで楽しいひとときを過ごした。

このあと木村さんによる怪談話へ。3階の学校の廊下は真っ暗。ロウソクの炎が不気味にゆれるなかの木村さんの怪談話。暗闇の廊下に子どもたちの悲鳴が響いていた。これまでのこの「学校に泊まろう」は、体育館で就寝したが、熱中症対策と子どもたちの健康を考慮してエアコンが設備された同小集会室に会場を変更した。解散間際に子どもたち全員が、お泊りに使った集会室の床を「ぞうきんがけ競争」に使った会場をきれいにし、楽しい夏やすみの思い出を締めくくった。

## 日吉台恒例夏まつり

令和になって初めての第20回日吉台夏まつり（日吉台学区自治連合会などの実行委主催）が7月28日、日吉台小グラウンドで開催された。昨年の日吉台夏まつりは、猛暑による熱中症対策で中止となり、2年ぶりの開催。今年も台風6号の影響による雨模様で1日順延されたが、夕涼みがてらの家族連れや子供たちが大勢来場、夏休みのひとときを楽しんだ。



にぎわう夏まつり会場

ト。テント内に灯りが入られれまつりもクライマックス。会場には、縁日でおなじみのたこ焼き、焼きそば、イカ焼き、焼き鳥、かき氷、アルコール類、清涼飲料水ほかアクセサリー類など趣向こら

きそば、イカ焼き、焼き鳥、かき氷、アルコール類、清涼飲料水ほかアクセサリー類など趣向こら

## 幼稚園舎解体工事本格化

### こども園開設に備え

こども園開設計画に伴い大津市による旧日吉台幼稚園舎解体工事が、本格化、認定こども園運営事業者を決める市の事業者公募作業も始まっているII写真。



解体工事は、7月18日に開始。工事業者が敷地周囲の樹木の撤去や、敷地の仮囲い工事を始め、8月下旬には、外壁、煙突等のアスベストの撤去工事入り。その後、9月下旬ごろから12月にかけて、今年末から新年にかけて30年を越える歴史を誇った日吉台幼稚園舎は姿を消し、園舎敷地は更地になる。

一方、認定こども園運営事業者の公募は7月1日から始まり9月20日まで行われている。認定こども園運営事業者の選任については、市は当初から公募方針で行うとし、平成29年秋、1回目の公募を行ったが、公募期間中名乗りを挙げる事業者がなく不調に終わった。1回目の公募は、市は園舎建物の改築継続使用を公募条件としたが、事業者側は、更地での活用、園舎新築を希望したものとみられる。

したお店が軒を連ねたほか、今年もグラウンドの一角に設けられたお化け屋敷が、子どもたちの人気を集めていた。夏休み中の児童が参加するイベント、行事について、市教委の熱中症対策に万全に期すよう求める通達もあつて会場中央のステージは、幼稚園児や、日吉台小子供たちによる参加が取りやめとなり、少しさびしくなったが、盆踊り「江州真頭」、オバサンバ、オチビサンバチームによるダンスなど楽しい催しが続く広げられ、まつりを盛り上げていた。